

九条科学者の会 2022年12月講演会 オンライン開催

立憲主義国家の破壊と再生

—ウクライナ侵略と安倍国葬を手がかりに—

ウクライナ危機を奇貨とした9条改憲、安倍元首相刺殺を奇貨とした安倍国葬。2022年におきたこの二つの事件は、日本国憲法の立憲主義を破壊する動きに収斂されようとしています。しかしこれらの動きのなかで、ぎゃくに「カルト団体に負けず、立憲主義を守ろう」「いまこそ9条が重要だ」という、立憲主義運動の立て直しの萌芽もみられます。お二人の講演を通じて相反する二つの動きをつかみながら、今後の運動につなげていければと思います。

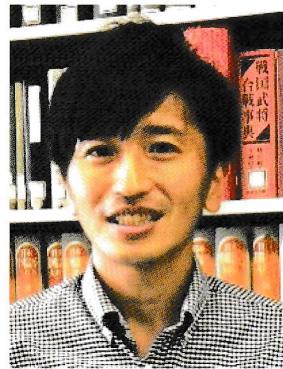
講演1: 日本国憲法平和主義の今日的意義



奥野恒久さん(龍谷大学政策学部教授)

1967年大阪府出身。室蘭工業大学准教授を経て、2011年より現職。現在、「憲法9条京都の会」事務局長。専攻は憲法学で、民主主義論と平和的生存権論、アイヌ民族の文化享有権論に関心を持っている。主要著書として、『人権論入門—日本国憲法から考える』(法律文化社、2019年)、『入門 憲法学—憲法原理から日本社会を考える』(法律文化社、2020年・共編)、『アイヌ民族の復権—先住民族と築く新たな社会』(法律文化社、2011年・共編)など。

講演2: 歴史のなかの「安倍国葬」問題



宮間純一さん(中央大学文学部教授)

1982年千葉県生。専門は日本近代史、アーカイブズ学。博士(史学)。宮内庁宮内公文書館研究職、国文学研究資料館准教授、中央大学文学部准教授を経て2022年より現職。著書に『国葬の成立—明治国家と「功臣」の死』(勉誠出版、2015年)、『戊辰内乱期の社会—佐幕と勤王のあいだ』(思文閣出版、2016年)、『天皇陵と近代—大友皇子伝説と地域—』(平凡社、2018年)、『歴史資源としての城・城下町』(岩田書院、2021年)など。

2022年12月18日(日)14:00~16:30

新型コロナ感染予防のためZOOMによるリモート開催です。定員90名・先着順受付。

申込み:氏名、連絡先(電話番号)を記してm2-office@9-jo-kagaku.jpにメールし、ログイン情報を受け取り下さい。

参加無料、カンパ歓迎

主催 九条科学者の会(「九条の会」アピールを広げる科学者・研究者の会)



〒113-0005 東京都文京区湯島1-9-15 HYビル(茶州ビル)9階

電話・Fax. 03-3811-8320 E-mail:m2-office@9-jo-kagaku.jp

ホームページ:http://www.9-jo-kagaku.jp

カンパ送り先:ゆうちょ銀行振替口座 00100-3-500621 加入者名 九条科学者の会